

ほん・本・ブック (修練会)

公益財団法人豊島修練会 2016年10月26日号 (通算第12号)



子どものほん (子ども、小学生&中学生)

田島信元監修「はじめてのえいごえほん—にほんのおはなし②」くもん出版本体 1200円

CD付きで、「うらしまたろう」「おたんじょうびおめでとう」「つるのおんがえし」「セブン ステップス」「はなさかじいさん」「カッコー」が、英文(カタカナのフリガナ付き)と日本語(ひらがな)で読めるようになっていて、きれいな絵を見ながら楽しめる。



URASIMA TAROUも、The Grateful Craneも、HANASAKA JIISANも、よく知っている昔ばなしなので、CDを繰り返し聞いていると、だんだん聞き取れ分かるようになってくる。

CDを聞きなれたら、今度は声に出して読んでみてほしい。カタカナのフリガナではなく、耳から聞いた音のように発音すると上手になるよ。

家族で聞いて、話し合うと、みんなで楽しめます。

大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)



著者は、50年ほど前に「ねないこはだれだ」という絵本を出した。夜なかなか寝ない子に「おばけのじかんになっちゃうよ」「おばけになってとんでいけ」と言ったら、娘は「いいよ、とんでいくよ」と言ったそうだ。そして、実は、「ねないこはわたし」ということで、この絵本になったのだそうだ。というようなことで、「にんじん(人参嫌いの子供に好きにさせる)」「もじゃもじゃ(紙をちぎってどう絵にするか)」「いやだいやだ(無スマの嫌だいやだを絵本にした…)」

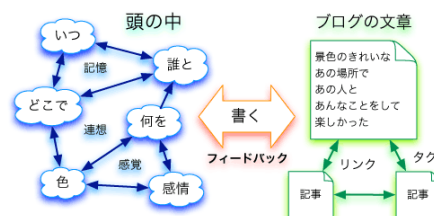
という絵本の誕生秘話を、またまた絵本(自叙伝風の大人向けの絵本)にしてしまったのである。ためになると思って書いたわけじゃない。駄の本でもない。と、作者自身が冒頭で述べていることを付記しておく。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

池上彰著「情報を生かす」PHPビジネス文庫 本体 850円

私たちの周りには情報が氾濫している。たいていのことなら、パソコンやスマホで簡単に検索し手に入れることができる。しかし、その情報を活用するとなると、今一つと言う人が多いのではないのでしょうか。

それは、辞書的に調べるだけで、何かの課題(問題)を解決するために、新しいことを創造的にまとめるために、情報を整理し、活用することがうまくいっていないからである。著者は、本書で、池上彰流の「情報活用能力をいかに高めるか」「私の情報収集術」「私の取材・インタビュー術」「私の情報整理術」「私の読書術」「私のニュースの読み解き方」「私の情報発信術」など、知的生産術を余すことなく公開している。自分流にアレンジして、「情報」を質の高い教育を子どもに保証するために活用していただきたい。



★備考★なお、話題提供のために本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」をはじめ「一宇荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。